

アレルギー性皮膚疾患治療剤
アンドントールゼリー
Andantol®
塩酸イソチペンジルゼリー

承認番号	13600AZZ01444000
薬価収載	1963年1月
販売開始	1961年7月
再評価結果	1977年7月

貯法：室温保存
使用期限：2年(チューブ、組箱に記載)

***組成・性状**

販売名	アンドントールゼリー
有効成分 (1g中)	塩酸イソチペンジル7.5mg
添加物	カルメロースナトリウム、D-ソルビトール液、ソルビン酸、水酸化ナトリウム、エデト酸ナトリウム
色	微黄色澄明
剤形	ゼリー状の軟膏剤
識別コード	◆621(包装に記載)

効能・効果

皮膚痒疹症、じんま疹様苔癬、小児ストロフルス、虫さされ、痒疹、神経皮膚炎、湿疹、多形滲出性紅斑・凍瘡・薬疹・日焼けに伴う痒疹

用法・用量

通常、症状により適量を1日数回患部に塗布する。

使用上の注意**1. 重要な基本的注意**

炎症症状が強い浸出性の皮膚炎の場合には、適切な外用剤の使用によりその炎症が軽減後もかゆみが残る場合に使用すること。

2. 副作用

総症例1336例中22例(1.6%)に副作用として塗布部の皮膚症状がみられた(再評価資料)。

次のような副作用が認められた場合には、必要に応じ、減量、投与中止等の適切な処置を行うこと。

	0.1%～5%未満	0.1%未満
過敏症	発赤、腫脹、痒疹感、湿潤	
皮膚	しみる、ぴりぴり感・ひりひり感・疼痛等の刺激感	熱感、灼熱感

このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

投与時

乾燥後、カサカサ感、膜が張ったような感じ、ひきつり感、つっぱり感があらわれることがある。

薬効薬理**1. 抗ヒスタミン作用及び抗アレルギー作用**

モルモット摘出腸管を用いたヒスタミン攣縮に対する実験で、クロルフェニラミンに比べ7倍の抗ヒスタミン作用を示し、またモルモットの卵白感作によるアレルギー喘息に対する実験では、ブ

ロメタジンに比べ皮下注で4.4倍、経口で2.2倍の抗アレルギー作用を示すことが認められている。¹⁾

2. 毛細血管浸出抑制作用及びその他の作用

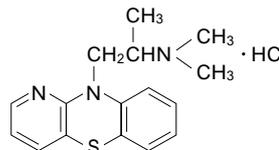
ラットのエヴァンスブルー青斑に対する抑制作用をみた実験で、クロルフェニラミンの約3倍、プロメタジンと同程度の毛細血管浸出抑制作用を示すほか、抗セロトニン作用、抗アセチルコリン作用を有することが確認されている。¹⁾

有効成分に関する理化学的知見

一般名：塩酸イソチペンジル(Isothipendyl Hydrochloride)

化学名：N-Dimethylaminoisopropyl thiophenylpyridylamine hydrochloride

構造式：



分子式：C₁₆H₁₉N₃S·HCl(321.87)

性状：白色～微黄色の結晶性の粉末で、においはなく、味は苦い。水又はメタノールに溶けやすく、クロロホルムにやや溶けやすく、エタノールにやや溶けにくく、エーテルにほとんど溶けない。

融点：210～214(分解)

包装

50g×5

主要文献

¹⁾ Schlichtegroll, A. : Arzneim.-Forsch., 7 : 237, 1957.

***製品に関するお問い合わせ先**

住友製薬株式会社 くすり情報センター
TEL 06-6229-5600

文献請求先

住友製薬株式会社 医薬情報部
大阪市中央区道修町2丁目2番8号(〒541-8510)

製造発売元

住友製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番8号